



箭田っ子だより

学校だより 第4号
令和6年5月23日
倉敷市立箭田小学校

学校教育目標：自ら学び、人・物・自然を大切にする心豊かな子どもの育成

学校経営目標：地域に愛され、一人ひとりの児童が生き生きと輝く、明るく活気に満ちた学校づくりを推進する

箭田っ子スポーツフェスティバル

夏を思わせる空のもと、箭田っ子スポーツフェスティバルを開催することができました。熱中症対策や子どもたちの負担軽減などを考慮し、低・中・高学年ごとの発表とさせていただきました。

【低学年】

1年生のかけっこでは、一人ひとりの名前を呼んでいきました。「ハイ！」という元気な声が運動場に響いていました。ゴールでは、台の上に上がって一人ひとりが考えたポーズを披露しました。とてもかわいい姿に、思わずにっこりしてしまいました。2年生は、初めてバトンを使ったリレーに挑戦しました。リングバトンを上手に次の人へとつないでいきました。折り返すところが2か所あったのですが、うまくスピードをコントロールしてカラーコーンを回っていました。

「頑張るぞ！オー！」の掛け声とともに始まったダンシング玉入れは、元気いっぱい飛び跳ねるダンスがすてきでした。球の投げ方が練習の時よりも随分うまくなっていました。特に2回戦は、わずか1個差の大接戦で、盛り上がりました。

【中学年】

3年生のリレーは、少し距離の短いトラックを1周しました。リードをしながらバトンパスができました。友達と競い合いながら最後まで走り抜ける姿が素晴らしかったです。4年生のリレーは、準備も子どもたちが行っていました。バトンパスもレベルアップしていて、スピードに乗ったバトンの受け渡しができっていました。

箭田っ子ソーラン2024では、一人ひとりが背中に名前を書いた黒色のハッピの迫力に圧倒されました。指先までピンと伸びたノリノリのダンスと、極限まで腰を落とした力強いソーラン節の動きがとてもカッコ良かったです。ノリのよさとたくましさを感じました。

【高学年】

5年生のリレーは、移動もきびきびして見ていて気持ちよかったです。バトンを前を向いてもらうこともできていて感心しました。6年生のリレーは、全力で準備や片づけをする姿がとても良かったです。力強い走りは、さすが6年生です。バトンパスも見事に決まっていました。高学年のリレーでは、放送委員会の子がアナウンスを担当しました。先生顔負けの実況中継が素晴らしかったです。

そして、最後に披露した集団表現「あこがれ」では、自分を磨き、互いを高め合いながら演技に取り組みました。指先・目線などすべてがピタッと決まっていました。静と動の対比が見事で、心を合わせた演技という言葉がぴったり当てはまるように感じました。

演技だけでなく、様々なところで素晴らしい動きを見せた高学年の子どもたちは、下学年の子どもたちにとって「かっこいい、憧れの高学年」であり、私にとって「自慢の高学年」でした。これからも箭田小学校をより良い方向に引っ張ってくれることを期待しています。

終了後、たくさんの方がテント等の片付けの手伝いをしてくださいました。ご協力いただいたおかげで、あっという間に片付けが終わりました。保護者の皆様、本当にありがとうございました。